

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 7 号
2 0 1 3 年 8 月 2 8 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 河原崎 宏之 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

東京第一運輸所他所詰所の「空調故障」に関する緊急申し入れ

8月23日に東京第一運輸所「他所詰所」の空調が故障していた。

そもそも当該の詰所空調は以前から空調の効きが悪く、詰所全体の空気の流れもなく健康管理・熱中症対策に関して誠に職場環境が劣悪な状態であると言える。

特に今年は例年になく猛暑が続いており、以前から軽装にすることを申し入れている新幹線乗務員の制服は現状ダブルの長袖制服を強制されており、制服の下は汗でびしょ濡れの状態で到着し詰所での休憩となる。

効きが悪い、また猛暑の最中に再々故障するような状態の空調では、新幹線の乗客の最前線で乗務する乗務員の健康管理は到底無理であり健康・安全に支障をきたすこととなる。

よって、下記の通り申し入れるので緊急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 8月23日、東京第一運輸所「他所詰所」の空調が故障していた。早急に根治的な修繕等を行うこと。
2. 故障の原因を明らかにすること。
3. 当日、東京第一運輸所総務科社員へ空調を効かせるように申し出たら、「よく故障する」と応えた。東京第一運輸所総務科社員の対応は、これまでも再々故障していたためと思われるが、これまで根治的な修繕もせず放置していた原因を明らかにすること。
4. 東京第一運輸所総務科社員は「故障修理については助役と相談する」と応えたが、相談した結果、修理手配は行ったのか。25日現在も未修理のままであり、修理手配を行ったのであれば、いつ頃修理が完了するのか明らかにすること。
5. 東京第一運輸所「他所詰所」は東京第一運輸所「自所詰所」、東京第二運輸所「自所・他所詰所」に比べ、明らかに空調の効きが良くない状態である。他所に比べて当該の詰所のみが空調の効かない原因は何か、明らかにすること。

6. 空調が効かず蒸し暑い思いを状況を強要されてきた他所乗務員に対して、「謝罪文」を掲示すること。

以上